

ず～むあっぴ☆

オホーツク

2017年

11月号

農林水産省
北海道農政事務所
北見地域拠点

オホーツク海

ばれいしょ収穫アグリサポート事業の展開で、労働力の負担軽減や輪作体系の維持などを実現する！

常呂町農業協同組合（北見市常呂町）

JAところ管内は、北見市のオホーツク海岸に位置する北見市常呂町（旧常呂町）で、約4,600haの農地（1経営体当たり約31ha）に小麦、てん菜、ばれいしょやたまねぎを基幹とした耕種農業と酪農が展開されています。

農業従事者の減少や高齢化、1経営体当たり耕地面積の増加による労働力不足などを背景に、労力が多く必要となる加工用ばれいしょの作付面積が減少傾向になっています。

このことから、平成26年度に作業の省力化、輪作体系の維持、作付面積の拡大、農業所得の向上など



通常の収穫は、トラクターにポテトハーベスターを牽引し、1畝ごと収穫しますが、この機械は自走式で、2畝ごと収穫します。また、速度も通常の2倍の速度で収穫していきます。



を目指す「ばれいしょ収穫アグリサポート事業」を開始。

収穫繁忙期の労働力不足の問題などを解決する取組みとして、今後の事業拡大も期待されます。

※ このアグリサポート事業では、ドイツ製の2畝自走式ポテトハーベスター（全長約11メートル）1台や運搬車の荷台に載せる大型コンテナ（15トンの積みセルフアンローダー）4台、選果機一式を導入（平成26年度甘味資源作物機械等リース導入事業を活用）しました。

東京農大「第29回オホーツク収穫祭」に参加しました！

平成29年10月8日・9日の2日間、東京農業大学オホーツクキャンパスにおいて「第29回オホーツク収穫祭」が開催され、東京農大生による日頃の研究活動等の成果発表や模擬店のほか、「生産者と消費者を“つなぐ”」をコンセプトとした「オホーツク農大マルシェ」も同時に開催されました。

北見地域拠点とは網走開発建設部とともに、農業・農村の多面的機能やオホーツク地域の6次産業化取組紹介のパネル展示と粳すり・精米体験を出展しました。



【パネル展示】



【粳すり体験】



「第35回みんなの生活展(網走)」に参加しました！



平成29年10月15日、網走市と網走消費者協会主催による「第35回みんなの生活展」が開催され、網走消費者協会による消費生活相談のほか、網走産小麦を使った塩パンの試食会等、地産地消や暮らしと健康に関する多くの出展がありました。

北見地域拠点では、食料自給率に関するパネル展示と、ミッションカードで出題された魚や野菜を釣り上げる「釣りゲーム」を出展し、約60名の方に体験していただきました。



【釣りゲーム】



編集後記 <8月号からのつづき>

伸び上がり目を開けると顔の上にまたがり上から見下ろすおじさん。作業員のような服装、スコップを持ち、泥だらけの長靴、起き上がろうとしてもまた動かなくなる体。必死にもがいているとおじさんの顔がだんだんと近づいてきた、目を閉じたくても閉じれない状況で耳元で何かを話し始めた……<次回最終話> (こばさと)